

輝いている人を紹介します

# まちのキラリ

7月に東京都で開催された「第37回全日本バウンドテニス選手権大会」フリー女子シングルスで準優勝。決勝は堤稚代選手(東京)と4-5の接戦を繰り広げた。母の相原征子<sup>あいはらせいこ</sup>さん(梁川)とダブルスでペアを組む。ダブルスの最高成績は全国ベスト8。

## 全日本バウンドテニス選手権大会 フリー女子シングルス 準優勝 加藤 未佳 さん(梁川)

全国大会を振り返って、  
いかがでしたか

全国大会は7回目の出場でしたが、勝っても負けても緊張しますね。こんなにも勝ち進んだのは初めてのことで、1日で5、6試合を戦ったので、ペース配分の難しさを痛感しました。同じクラブから応援に来てくれた人がいたので、声援が励みになりました。

決勝戦はどのような戦い  
でしたか

決勝はセットを取っては取り返しのシーソーゲームでした。マッチポイントをつかみながらも勝つことができなかつたので、本当に悔しかったです。

バウンドテニスを始めた  
きっかけはなんですか

母が「やながわバウンドクラブ」に所属していて、応援に行くうちに、自分でもやってみようと思うようになりました。

バウンドテニスの魅力は  
どんなところですか

さまざまな年齢の人がプレイできるスポーツなので、性別・年齢に関わらず、競技を通して幅広い年代の人と交流ができるところが魅力です。広いスペースがなくてもできるので、誰でも気軽に体を動かせる楽しさも魅力だと思います。

これからの目標を教えてください

ダブルスを組む母を目標に頑張りたいです。ロブ(※)を上げて前線に詰める母のプレイスタイルになり、自分のプレイスタイルを磨いていきたいと思えます。

大会では、シングルスで  
全国優勝、ダブルスも表彰  
台を目指したいです。

※ロブ：テニス用語で、弧を描く山なりのショットのこと

